





コロナ禍における多摩市議会の取組み

多摩市議会災害対策連絡会を設置し、様々な対応を協議

新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年4月には緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出が制限されるなど、個人の生活や企業活動等にも大きな影響を受けることとなりました。いわゆる「コロナ禍」と言われる状況が続く中で、先の見えない「我慢」の生活が続き、困窮する市民が増加し、国、東京都、多摩市の早急かつ的確な対応が望まれています。

このような中で多摩市議会は、令和2年2月21日に立ち上げた「多摩市議会災害対策連絡会」を、延べ30回以上にわたり開催し、市の設置する「災害対策本部」との情報共有を図り、日ごろからの議員活動を生かして市民の声を集め、市の対策に活かすよう議論し、約130項目以上の質疑、要望、提案を市に対して行ってきました。

議会から市への要望事項	高齢者にもわかりやすい情報発信を	緊急事態宣言下(4月)の格差の無い小中学校のオンライン学習の拡充を	介護、保育、学童保育へ感染症対策経費の補填を	中小企業・個人事業主向けを含む市内事業者への支援を
関連する市の事業	<ul style="list-style-type: none"> たま広報にて特集を継続的に掲載(令和2年3月20日号以降随時) たま広報かわら版の発行開始(10月)。 健康2次被害を防ぐための啓発を実施(6月)。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン上で課題の受け渡しや管理をするためのウェブサービスの導入(5月) 電子教材の導入(5月) 家庭学習用モバイルルータ等貸与の仕組みを導入(6月) 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険事業所・障害福祉サービス事業所への事業継続応援金の給付(6月) 介護保険事業所・障害福祉サービス事業所等感染拡大防止対策給付金の給付(6月) 子ども関連施設における感染症対策経費の補助(6月) 	<ul style="list-style-type: none"> 融資等に必要の証明書発行手数料の無料化(4月) 持続化給付金等の申請サポート会場を設置(5月) 小規模店舗等における下水道使用料を実質無料化(6月) がんばろう事業者応援支援金(6月) 勤労者福祉対策 店舗における予防策経費支援(7月) 



議長
藤原 マサノリ

昨年の緊急事態宣言発出時は、感染拡大の影響が見通せない中、市民の暮らしを守るための市の業務を止めることなく、今行うべき施策を共に考え、決定することが使命ととらえ、議会運営を心掛けました。

現在進められているワクチン接種は、先の見えない戦いの中で見えた一筋の光ではありますが、現状を考えると決して予断を許さない状況が当面は続くことが予想されます。したがって、今後も気を緩めることなく、状況変化に機動的に対応してまいります。

小中学校の女子トイレで生理用品を配布 ～女性の健康応援隊が要望し、実現～

金銭的な事情や、親のネグレクトにより買ってもらえないなど、生理用品の入手が困難になる「生理の貧困」が社会問題となっています。このコロナ禍で深刻化した問題について、議員の有志で構成される「多摩市議会 女性の健康応援隊」では喫緊の課題ととらえ、解決のために以下の5つの要望を市長に提出しました。

1. 防災備蓄品を活用し、生理用品を生活に困窮する方へ配布
2. 学校や公共施設のトイレに生理用品を設置
3. 子どもが声を上げやすい教育現場の対応
4. 困難を抱える女性が相談しやすい環境づくり
5. 必要な支援が受けられる情報発信

要望を受けた市は、翌日に防災倉庫の備蓄品を利用し、小中学校の個室トイレや保健室で無償配布する取組みを開始しました。



市長に要望書を渡す「多摩市議会 女性の健康応援隊」

令和3年第2回臨時会は5月11日です

令和3年 第2回多摩市議会定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土	
		6/1	2	3	4	5	
		本会議 (行政報告等・一般質問)					
6	7	8	9	10	11	12	
	本会議 (一般質問)		休会日	休会日	本会議 (議案等審議)		
13	14	15	16	17	18	19	
	常任委員会						
	総務	健康福祉	生活環境	子ども教育	代表者会議		
20	21	22	23	24	25	26	
	議会運営委員会		休会日	本会議 (議案等審議)			
27	28	29	30				